

別紙様式 1

令和6年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立神山森林公園イルローザの森	施設所在地	名西郡神山町阿野字大地459-1
指定管理者名	徳島中央森林組合	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設所管課	林業振興課	【連絡先】	088-621-2463

1 施設の概要

設置年月日	平成元年7月29日（平成11年3月25日 東龍王地区を追加）
設置目的	県民に保健休養の場を提供するとともに、森林及び林業に対する県民の理解を深める
施設内容	公園敷地281.13ha 森林学習館、レストハウス、炊飯所など計38施設
利用料金等	無料
開館日・休館日等	12月28日から1月4日まで

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	・徳島県立神山森林公園の施設の運営業務（受付案内業務、イベントの実施、自主事業の実施、利用拡大のための啓発活動） ・施設・物品等の維持管理業務（清掃業務、修繕業務、設備運転管理等業務、展示物及び遊具施設等常駐メンテナンス業務、警備業務、芝生管理、樹木管理、園地・林地管理、遊歩道、管理道及び林道の管理） ・施設の利用の許可に関する業務（森林学習館、炊飯施設、ゲートボール場等）
------------	--

3 施設の管理体制

管理体制	事務等職員 3 名 作業員 11 名 計 14 名												

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	令和6年度	47,121	16,857	6,462	4,401	3,948	7,950	9,468	16,077	7,041	4,515	5,316	24,996	154,152
	令和5年度	41,672	16,803	6,303	4,383	4,359	8,088	9,162	15,219	6,387	4,206	5,202	33,726	155,510
	令和4年度	32,508	17,808	6,706	4,140	5,318	8,218	8,908	13,508	5,697	4,201	5,202	30,528	142,742

月別利用 料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	令和6年度													
	令和5年度	該当無し												
	令和4年度													

施設毎 利用料金収入 (千円)													計
	令和6年度												
	令和5年度	該当無し											
	令和4年度												

5 収支の状況

(単位：千円)

項 目			令和 6 年度	令和 5 年度（前年度）	令和 4 年度（前々年度）
収入	指定管理料		72, 833	72, 600	72, 600
	事業収入		66	96	67
	計		72, 899	72, 696	72, 667
支出	固定費	人件費（常勤職員）	9, 762	8, 500	11, 393
		光熱水費	3, 507	3, 584	3, 467
		事務所運営費	2, 500	2, 709	2, 118
		施設管理手数料	569	645	835
	運営費		1, 653	2, 067	1, 440
	維持管理費	清掃費	7, 709	7, 800	8, 324
		警備費	237	356	343
		園地管理費	45, 987	42, 090	38, 916
		修繕費	2, 560	2, 262	3, 182
	消費税		1, 338	2, 748	2, 711
	計		75, 822	72, 761	72, 729
	収支		-2, 923	-65	-62

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	・園内の遊具や柵など施設の補修にあたっては、可能な限り材料の現場調達を行い、職員が実施することにより、購入や外部発注にかかる経費の削減を図った。 ・施設内の日々の見回りによるチェックを行い細かな修繕を行うことで大きな破損につながらないよう心がけた。 ・省エネルギー、省資源化による光熱費削減への取組みとして、エアコンの使用に当たっては適切な温度調節や緑のカーテン（ゴーヤ、フウセンカズラ等）の活用、各所の適宜消灯を行った。 ・園内の各照明について、LEDへの切り替えを図った。 ・コピー・印刷用紙の節約やミスコピーの再利用による事務費の削減を行った。 ・トイレ（見晴らし広場、展望広場、ファミリー広場女子）の照明はセンサー式のものにしており、節電に努めた。
サービス向上の取組	・年間を通し多彩な事業を開催し、年間カレンダーを作成し、県内各所で周知を図っており、ニーズに応じ、参加者が多いイベントについては、回数を増やすようにした。 ・各種教室の参加者には、記念品を贈呈する「イベントポイント制度」を導入し、利用促進とリピーターの確保を図った。 ・園内どんぐりマップを作成し、どんぐり、松ボックリ等を拾いたい等の要望に応じて、現場を案内した。また、桜の時期には、開花情報をHPに掲載し、見頃を紹介した。 ・各種イベント時には、来園者向けに案内所テントを出して見所を案内した。 ・トイレ（見晴らし広場、展望広場、ファミリー広場女子）にセンサーライトを設置した。 ・スマートフォンで樹木が検索できるQRコード付き樹木プレートを設置した。 ・職員一人一人が一日3人の来園者から直接意見や要望を聴取する「1日3人ふれあい運動」を実施した。

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	・11月17日に「秋まつり」をnanaマルシェと共催した。 ・上記のイベントでは、紅葉狩りと食イベントを組み合わせ、さらに、常緑樹の生け垣迷路を利用したイベント「緑の大迷宮」を同時開催したことで、神山森林公園を核とした地域活性化のイベントとして、大変賑わった。 ・11月と3月には、動物ふれあい教室を実施し、命の大切さを学ぶイベントを行った。 ・みどりの感謝祭については、GW中であり密になるため昨年まで中止していたが、今年度から開催した。 ・令和6年度は新たなイベントとして、10月6日に「木のおもちゃまつり」を開催し、木のおもちゃで遊べるコーナーを設置したり、木エクストラ教室の開催、キッチンカーの出店をし、多くの利用者で賑わった。
----------	--

8 管理運営業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・職員が1日最低3人の来園者から意見や要望を聴取する「1日3人ふれあい運動」及び「全ての来園者にあいさつ運動」の実施により、利用者ニーズの把握に努め、可能な限りイベント等に反映させた。 ・イベントポイント制度の導入によりリピーターの確保に努めた。 ・令和6年度に開設したInstagramアカウントや、リニューアルしたHPに、イベント情報や年間カレンダーを掲載し、利用促進に努めた。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	・地元団体等と連携を図りながら、さくら祭り、秋まつりを開催している。また、今年の秋まつりでは新たな取り組みとして、イベント「緑の大迷宮」を同時開催し、多くの利用者で賑わった。 ・計画書に基づいた自主事業を実施しており、公園スタッフで運用することでコスト削減を図った。 ・令和6年度から新たに「木のおもちゃまつり」を開催した。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・園内の施設については、直営により速やかに、かつ細やかな修繕が行われており、少ないコストで多くの箇所の修繕を実施した。 ・園地管理については、樹木・草花・芝生の手入れが行き届き、来園者からの好評な声が多数寄せられた。 ・課題として、イノシシ・シカ被害の効果的対策が望まれる。 ・一部遊具や双眼鏡など、利用できない設備についてはしっかりと利用者への明示と、担当課への報告が行われた。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	B	・収支計画の達成状況について、人件費の支出が計画より大幅に増えた。 ・修繕等を直営で行うことで、コスト削減を図った。 ・適切なエアコンの管理やLED電球の使用、緑のカーテンなどにより、費用の抑制を図った。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・保安業務や浄化槽の管理、警備など必要な外部委託は計画どおり実施した。 ・県条例に基づく文書管理規程も新たに整備した。 ・「1日3人ふれあい運動」において、来園者から聴取した内容も反映したセルフモニタリングを行っており、職員の情報共有により、随時改善・改良がされた。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・事業計画書の職員体制に示した労働条件を満たす勤務ができており、適正な能力及び実績を評価した、人員配置を行った。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・職員の多くは地元雇用である。 ・年間を通じて開催されている教室の講師として地元企業に依頼をして、連携協力を図っており、あわせて地元企業のPRをした。 ・業務委託についても、県内企業を中心に実施した。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・自主事業イベントの際には、地元団体等と連携し、地元特産品や農産物を販売するなど積極的に連携を図った。 ・令和6年度はみどりの感謝祭と秋まつりを開催し、多くの来園者により賑わった。 ・地区の学校行事や課外授業などに使用された。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・施設を定期的に巡回・点検し、早急に修理を行った。 ・台風等の発生時には、状況確認や危険箇所への立入禁止等の対応を早急に行っており、令和6年度からは状況報告書も提出することとした。 ・防災マニュアルの職員への徹底を図るとともに、月会議時には、安全確認や注意事項の共有を図った。 ・感染症の予防対策として、消毒液を常備した。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	S	・チェーンソーオイルは生分解性で環境に優しい成分のものを最小限の利用に努めることで、環境への負荷を抑制した。 ・園地管理などに使う自動車など、アイドリングストップを徹底した。 ・東龍王地区の山野草繁殖地では草刈りを制限し、保護活動の普及啓発として来園者に紹介した。 ・園内の管理に利用するフロアーはバッテリーを使用し、CO₂排出量を抑えた。 ・豚熱対策として、来園者の足下の消毒を実施。 ・一部トイレに設置している照明は、太陽光発電による電力も利用した。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・関係法令に基づき、適正に実施した。 ・情報公開規定を整備した。 ・定期的に職員会議を行い、対応体制を確認した。
総合評価	A	・利用者ニーズの把握により、要望に対する対応を積極的に図り、サービス向上につながった。環境への配慮や安全管理等も整っており、適正な運営管理を行った。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

○神山森林公園の魅力発信や広いフィールドを利用した新たなイベントを開催することにより、来園者を増やす取り組みが期待される。

具体的には、

- ・間伐体験など森林林業の普及啓発につながるイベントを開催する。
- ・令和6年度に新たに開始した「木のおもちゃまつり」や「緑の大間迷宮」などのイベントが人気だったため、継続して開催する。ただし、これらのイベントは参加費を徴収しておらず、収入がない。イベント実施に必要な経費を確保できるよう、不人気イベントの廃止や、イベント広告におけるインターネット・SNSの活用等により、コスト削減に努める。
- ・インターネット、新聞、パンフレットを活用した県内外への積極的なPRを続ける。
- ・神山森林公園HPやSNSにより、公園情報の充実化とイベント情報の発信を行う。
特に、「イベントポイント制度」や「どんぐりマップ」、「桜開花情報」、「紅葉見頃情報」などについて。
- ・新たに「森林フリーマーケット」を定期的開催し、来園の少ない20代から30代の年齢層の来園を促進する。
- ・徳島木のおもちゃ美術館や山のおもちゃ美術館と連携し、木育広場の利用促進等を図る。
- ・ロードバイク愛好者向けに「林道東龍王山線」のPRを行う。
- ・ツーリングを楽しむためのスタンドやパンク修理の機材等の整備を行う。

○収支実績について、人件費の支出が計画よりも大幅に増えている。令和6年度は現場作業員の入れ替わりの時期で、一時的に作業員の人数が多い状態であったことが原因となっていた。さらに、近年の賃金水準の上昇等の影響もあり、作業員の単価も上がっていた。令和7年度は人件費の増額を考慮した指定管理料としており、改善が見込まれる。

○今後見込まれる大きな支出として、事務用PCの更新（2～3台）を実施する予定。